

## 繊維工業における情報管理の調査・研究

繊維工業指導所

技術指導部 望月 政夫

### 1. 緒 言

現在、情報を有効かつ迅速に得るためには、通信手段（情報ネットワーク等）による方法が、最も一般的だと思われる。しかし、組織全体が活発に利用しているかという点、決してそうでないと思われる。

データベースは、活用しなければ、情報を蓄積した単なる遺物と考えられがちである。しかし、蓄積されたデータは、組織、グループそして個人の現在、将来における試験研究には、必要不可欠な、また助けとなることは、疑うべき余地はないように思われる。

そこで、今回は所内のデータベース化を図ることで、手短かに情報が得られるように、情報室の保有財産と、専門新聞（日本繊維新聞、繊維研新聞）についてデータベース化を行った。

### 2. 使用機器

PC - 9801 シリーズ

### 3. 内 容

#### 1) 情報室保有財産のデータベース化

情報室に保有されている、技術情報誌、書籍、学会誌、一般技術雑誌、その他等リストのデータベース化を行った。

データベースとして、次の5項目を入力することにした。

(ア) クラス：書棚の割付 1 書棚 1 クラスで 12 クラス

(イ) セクター：割付けされた書棚の細分割 1 クラス 12 セクター

(ウ) 関係部名：書物の内容から部名を付けるか、購入した部の名前

(エ) 図書名：本、雑誌等の名称

(オ) KEY：いわゆるキーワードであり、目次のなかより適当に選択した。

クラス、図書名そして KEY により検索できるように、プログラムを作成した。プログラムは、dBASE II 言語を用いて作成、そのため実行速度がいくらか遅いのが欠点であるが、特に多項目によるソートが簡単にできるので、この言語を用いた。

現在、617 種類、870 冊を登録。月刊誌等は 44 種類、1 年分を 1 冊とし、キーワードは過去 5 年間に渡って登録。月刊誌は 1 年分を 1 冊とした理由は、キーワードが 1 誌名に対し、12 ヶ月分同時に入力できるようにしたため、逆にいえば、検索された月刊誌名とキーワードが 12 ヶ月分同時に表示さ

れるようになっている。

## 2) 専門新聞のデータベース化

現在、繊維専門新聞として、2 紙（日本繊維新聞、繊維新聞）をとっている。ある程度の蓄積作業は行っているが、明確なデータベース化が図られていなかった。毎日の貴重な記事のいくつかをそのまま放って置くのは、情報の得られる機会損失が大きいと思われ、今回のデータベース化を図ることにした。

データベースとして、次の 6 項目を入力することにした。

(ア) 新聞名：繊維 or 繊維研

(イ) 年月日：e x a 1990 / 07 / 01

(ウ) 業 種：縫製、製綿・寝具、綿スフ、メリヤス、染色、図案等

(エ) テーマ：記事の題名

(オ) 概 要：記事の内容、100 文字以内

(カ) K E Y：記事の中よりキーワードを選択

登録する記事は、研究開発、発見そしてニュース等で純粋な「ニュース」は、登録しなかった。また、KEY により検索できるプログラムを作成、情報室保有財産のデータベース化同様 dBAS E II 言語を使用して作成した。

現在、201 件を登録。

## 4. 結 言

情報室の保有財産、専門新聞にしても、データベースに登録する作業は、たいへんな作業だ、といえる。新聞は、毎日膨大な記事の中から、必要な記事を取り出し、登録するという、作業の繰り返しのため、日々の業務に時間の拘束、計画性等が強く要求される面も多かった。

また、技術情報誌、技術雑誌等も、毎日、少なからず動きが生じるので、書棚のデータベース管理も、組織全体が協力して行わなければ、とても難しいように思われた。

研究としては今年度で終わりであるが、データベースの蓄積は、一日一日の積み重ねによるので、これからも続けてデータの登録をしていく予定である。